Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

02206976

医放射 医动物系统

PUBLICATION DATE

16-08-90

APPLICATION DATE

06-02-89

APPLICATION NUMBER

01027018

APPLICANT: FUJITSU LTD;

INVENTOR:

SHIOJIRI MIKIO;

INT.CL.

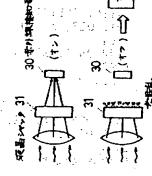
H04N 5/32 G01J 1/44 H04N 5/335

TITLE

: SENSITIVITY CORRECTION METHOD

FOR INFRARED-RAY IMAGE PICKUP

DEVICE



ABSTRACT :

PURPOSE: To reduce uneven brightness and to obtain a video image with high accuracy by obtaining on/off state periodically depending on the control of an applied voltage to a liquid crystal shutter and applying periodic offset correction sequentially.

CONSTITUTION: A liquid crystal shutter 31 is arranged in an optical path of the converging and image forming optical system and turned on or off by the control of an applied voltage. The liquid crystal shutter 31 is turned on/off to defocus an incident radiant ray and make it incident in a multi-element type infrared ray sensor 30 with the light scattering effect of the liquid crystal in the off-state to obtain an offset correction data periodically and the offset is corrected by an offset correction data. Thus, the video image with less uneven brightness is always obtained.

COPYRIGHT: (C)1990, JPO& Japio

⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

◎ 公 開 特 許 公 報 (A) 平2-206976

Sint. Cl. 5	識別記号	庁内整理番号	❸公開	月 平成2年(1990)8月16日
H 04 N 5/32 G 01 J 1/44 H 04 N 5/335	E P	8838-5C 7706-2G 8838-5C 審査請求	未請求	請求項の数 1 (全6頁)

60発明の名称 赤外線操像装置の感度補正方法

②特 顧 平1-27018

22出 **5** 平 1 (1989) 2 月 6 日

29出 									
使充	明	者	西端	誠	神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 内	富士通株式会社			
② 先	明	者	中村	理	神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 内	富士通株式会社			
包発	明	者	塩 尻 幹	男	神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 内	富士通株式会社			
也 第100	顯理	人人	富 士 通 株 式 会 弁理士 伊東 :	è社 忠彦	神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 外2名				

明報業

発明の名称 赤外線器整装置の感度補正方法

2 特許請求の範囲

多素子型素外線検知器 (30) を用いた素外線 機物装置で各検知素子の態度ばらつきを補正する 方法において、

東光、結像光学系の光路中に、印加電圧の封御 によってオン、オフできる液晶シャッタ (3.1) を配置し、

数液品シャッタ(31)をオン、オフさせ、オフ時における液晶の光散乱効果で入射来外線を上記多素子型赤外線検知器(30)にデフォーカズさせて入射してオフセット補正データを定期的に得、該オフセット補正データにてオフセット補正することを特徴とする赤外線関係装置の感度補正方法。

3. 発明の詳細な説明

(異仮)

多素子型赤外線検知器を用いた赤外線機像装置 で、各検知素子間の感度は5つきを補正する方法 に関し、

オフセット領補正 データを取得した後に周囲臨 度変化等があったり、又、実育景入射光の温度範 関が広い場合、これに対応してオフセット領補正 データの更新ができ、常に輝度むらの少ない映像 を得ることを目的とし、

東光、結像光学系の光鉄中に、印加電圧の制御によってオン、オフできる被品シャッタを配置し、被品シャッタをオン、オフさせ、オフ時における被品の光放乱効果で入射系外線を多案子型赤外線検知器にデフォーカスさせて入射してオフセット補正データを定期的に得、オフセット補正データにてオフセット補正する。



特開平2-206976 (3)

動化することにより、背景入射の温度範囲が広い 場合でも常にはらつきのない映像が得られる。

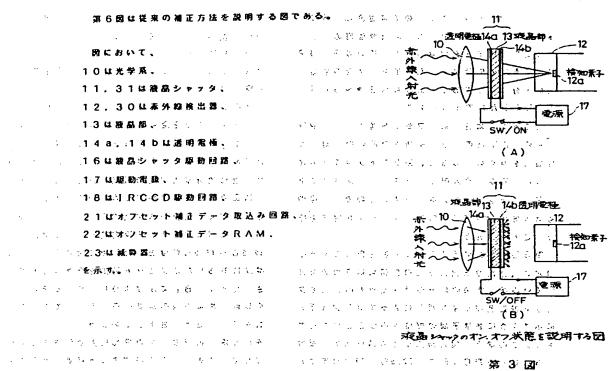
12. 113

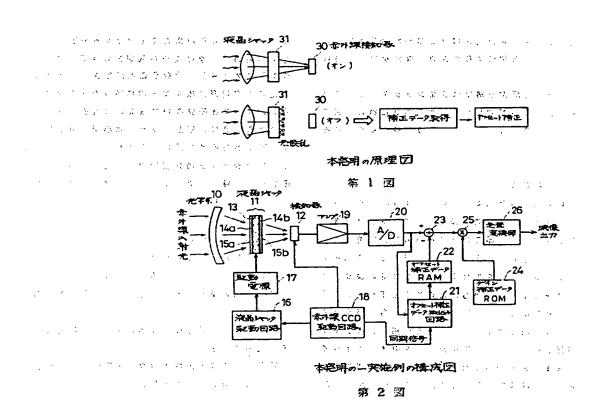
(実施研)

が広い 11のオフは完全なオフ状態ではなく、赤外線入る。 91次が液品部13で数温されて検知器12においてデフォーカスする程度に構成されている。

19はアンプ、20はAD変換器で、検知器 12の出力を坩幅し、AD炙換する。21はオフ セット補正データ取込み国路で、IRCCD級動 回路18からの周期信耳(液晶シャッタ11をオ フするタイミングに同期じた信月)にてAD変換 四20の出力中波昌シャック11をオフした時の 出力のみを選択し、この出力をオフセット補正デ - 夕RAM22に格納する。23は減算器で、A D変数器20の出力データからオフセット補正デ - 夕RAM22に格納されているオフセット補正 テータを疑pする。24はグイン袖正データRO Mで、各点子毎のゲイン補正データが予め格納さ れており、オフセット補正されたデータは乗算器 25でROM 24からのゲイン袖正データと乗算 されることによりゲイン補正される。26は走査 変換部で、乗算器25の出力データを映像信号に 変換して出力する。

、このような液量シャッタ 1、1 のオフによって検 知 2 1 2 の前に均一温度熱板を置いたのと等価と なり、4 フレーム角に新たなオフセット補正デー





-545-